はじめに

東京都男女平等参画審議会は、平成12年7月25日、知事から男女平等参画のための東京都行動計画の基本的考え方について諮問を受け、平等部会、参画部会の2部会を設置して、審議を進めてきた。

これまで、東京都は、四次にわたり行動計画を策定して、男女平等参画を推進する施策を積極的に推進してきた。この間、東京における男女平等参画の状況は大きく進展したが、それでもなお、男性、女性のどちらか一方に対して不平等な影響を及ぼす制度や慣行などはなくなってはいない。こうした状況を乗り越えることを目指して、都は平成12年3月東京都男女平等参画基本条例を制定した。

審議を進めている行動計画はこの条例に基づくものであり、都の男女平等参画施策の新たな時代を画す行動計画になるべきものである。この行動計画を基礎として、21世紀の東京を、男性も女性も互いの違いを認めつつ一人一人の個性を尊重する社会、性別に関わらず誰もがいきいきと輝くことできる社会としていかななくてはならない。そのための考え方を検討する審議会の責任は重大であると考えている。

もとより短い期間であり、十分な審議が尽くせている状況ではないが、審議会が審議を進めている内容について明らかにし、広く都民、事業者、区市町村等から意見を寄せていただくために、現在までの審議内容を取りまとめて公表することとした。

今後は、寄せられた意見を審議に反映させ、答申を取りまとめていく予定である。東京における男女平等参画の推進に関し、活発な議論が交わされ、この中間のまとめに対し、各層から幅広い意見が寄せられることを望むものである。

東京都男女平等参画審議会

会長 坂本春生